

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	卒業制作
科目基礎情報				
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名		開設期 後期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数 420時間
単位数	14単位	授業形態	実習	
教科書/教材	参考書・参考資料等は、授業中に指示する。			
担当教員情報				
担当教員	木村剛、大山敏弘、山口恵美子、長沼みか	実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー、インテリアデザイナー、インテリアコーディネーター	
学習目的				
各自またはゼミのテーマに基づき3年間のまとめとしての作品を制作する。学生は、翌年には卒業し、実社会でデザイナーとして働いていくことになる。よって、卒業制作は、あくまで社会のニーズにもとづくもの、あるいは社会の問題・課題を改善するものを、調査・考察し、具体的な企画案を提案し、企画にもとづくセールスプロモーションツールやモックを制作し、広く一般に向けてプレゼンテーションすることを目的とする。				
到達目標				
デザイナーとしてキャリアをスタートさせるために必要な、調査力、考察力、企画力、プレゼンテーション力、モノを作るための技術力や表現力、そしてこれら全体を含むプロジェクトを管理(マネージメント)する力を身につけることも目標とする。この中のどれかひとつが長けているのではなく、あくまでバランス感覚に優れたデザイナーになるため、すべての工程において成果を出すよう、取り組むこと。				
教育方法等				
授業概要	これまでの実習科目の進め方とは違って、ゼミの担当教員と学生の「面談」が授業の主体となる。学生は、毎回担当教員に、卒業制作作品の進捗状況および今後の計画について報告し、それに対して教員は適宜必要なアドバイスを実施する。			
注意点	学生は各回ごとに必要な資料をアナログまたはデジタルデータで準備すること。調査、取材などの日程が授業と重複する場合には、実施前日までに担当教員の許可を得ること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する	
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する	
	相談検証	20%	制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する	
	プレゼン	10%	制作物の発表方法、内容について評価する	
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	アイデア・コンセプト1	リサーチを重ね、作品の概要・テーマ・イメージに結び付けることができる		
2回	アイデア・コンセプト2	リサーチを重ね、作品の概要・テーマ・イメージに結び付けることができる		
3回	アイデア・コンセプト3	リサーチを重ね、作品の概要・テーマ・イメージに結び付けることができる		
4回	基本デザイン1	エスキースを通じ作品全体のプラン・デザインを考え表現することができる		
5回	基本デザイン2	エスキースを通じ作品全体のプラン・デザインを考え表現することができる		
6回	基本デザイン3	エスキースを通じ作品全体のプラン・デザインを考え表現することができる		
7回	CG制作1	細部の設計・デザインまで考えCAD・CGやスケッチで表現することができる		
8回	CG制作2	細部の設計・デザインまで考えCAD・CGやスケッチで表現することができる		
9回	CG制作3	細部の設計・デザインまで考えCAD・CGやスケッチで表現することができる		
10回	モデリング・制作1	図面等をもとに、作品に合った制作方法を見出し、作品を制作することができる（外注含む）		
11回	モデリング・制作2	図面等をもとに、作品に合った制作方法を見出し、作品を制作することができる（外注含む）		
12回	モデリング・制作3	図面等をもとに、作品に合った制作方法を見出し、作品を制作することができる（外注含む）		
13回	モデリング・制作4	図面等をもとに、作品に合った制作方法を見出し、作品を制作することができる（外注含む）		
14回	プレゼンボード制作1	これまでの内容をボードに工夫してレイアウト・表現し作品完成することができる		
15回	プレゼンボード制作2	これまでの内容をボードに工夫してレイアウト・表現し作品完成することができる		